

## 令和4年度 協働提案事業補助金テーマ

1	<p>【テーマ】</p> <p>災害に強いまちづくり</p>	<p>【関係課】</p> <p>○危機管理課 消防本部</p>
	<p>【解決したい課題・現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に災害が激甚化するなか、防災に対する関心は高まりをみせているが、市全体に広がっているとは言い難い</li> <li>・命を守るために避難する場合、地域での声掛けも重要となるが、地域のつながりが強くない地区もある</li> <li>・災害の種別、状況によって、命を守るための行動が変わってくる</li> </ul>	
	<p>【目指す状態(実現したい状態)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者まですべての市民の防災意識が高い状態</li> <li>・多様な手法やツール(イベント、メディア、カードゲーム等)を用いて、継続した取組が実施されており、世代を超えて、地域のつながりが強い状態</li> <li>・住民自ら災害について考え、災害の規模や周りの状況に応じて、命を守る最善の行動をとることができる状態</li> <li>・地域住民が災害時要配慮者を把握し、いざという時に逃げ遅れの無い迅速な避難体制が確立された状態</li> <li>・災害時に犠牲者が出ない状態</li> </ul>	
2	<p>【テーマ】</p> <p>私たちの力で瀬戸内市の魅力を発信</p>	<p>【関係課】</p> <p>秘書広報課</p>
	<p>【解決したい課題・現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民ならではの視点で、市内の美しい風景、街並みなど瀬戸内市の日常にある魅力を市内外に発信するシティプロモーションの取組が不足している</li> </ul>	
	<p>【目指す状態(実現したい状態)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外に瀬戸内市の魅力を発信することで、瀬戸内市に興味を持つ人が増え、関係人口の増加に繋がる状態</li> <li>・市民自らが情報発信することで、市の魅力を再認識し、市に愛着や誇りを持つことができる状態</li> </ul>	
3	<p>【テーマ】</p> <p>空き家等を活用した定住推進や魅力あるまちなみの形成</p>	<p>【関係課】</p> <p>企画振興課</p>
	<p>【解決したい課題・現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住・定住のために活用できる空き家の掘り起こしが進まないため、市内で住み替えを検討している人や移住を検討している人のニーズに応えられていない</li> <li>・歴史ある「しまおち唐琴通り」や「備前福岡」のまちなみにおいて、空き家の増加、地域の空洞化が進み、固有の風情・情緒、佇まいが失われてきている</li> </ul>	
	<p>【目指す状態(実現したい状態)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家に関する啓発によって多くの空き家所有者が空き家を地域資源と認識することで、空き家バンクへの物件登録等が進み、常に30件程度の空き家情報が提供できている状態</li> <li>・空き家の活用を促進する担い手と連携して、空き家を持つ人と活用する人との効果的なマッチングが進んでいる状態</li> <li>・地域の担い手や住民が主体となって、空き家や歴史的建造物等を活用したまちなみの価値づくりや保全管理に取組み、地域固有の魅力あるまちなみが形成できている状態</li> </ul>	

4	<b>【テーマ】</b> 県立邑久高等学校の魅力向上による地方創生	<b>【関係課】</b> 企画振興課
	<b>【解決したい課題・現状】</b> ・邑久高校は市内唯一の高等学校であり、将来の地域を担う人材育成の拠点としてその存在は欠かせないものであるが、少子化の影響等により募集定員は減少している。また、市内中学校の卒業生の岡山市内の高等学校等を志願する傾向が高まっており、邑久高校への進学者は1割程度となっている ・高校生をはじめとした子ども達は将来の瀬戸内市を担う人材であるが、大学等への進学、就職・結婚に伴い県内外に転出する人が多くなっている	
	<b>【目指す状態(実現したい状態)】</b> ・邑久高校の魅力が向上し、在校生・卒業生にとっての誇りとなり、市内のみならず近隣市町から多くの中学生に選ばれる高校となっている状態 ・邑久高生が郷土を知り、地元へ愛着(郷土愛)を持ち、将来「瀬戸内市で暮らしたい」、「瀬戸内市とつながってほしい」と思う「人づくり」ができている状態 ・邑久高校が若い世代の活気ある地域コミュニティの核という存在となり、高校生が地域の課題解決に貢献している状態	
5	<b>【テーマ】</b> 思いやりがあふれる人権尊重のまちづくり	<b>【関係課】</b> 市民課(人権啓発室)
	<b>【解決したい課題・現状】</b> ・多様化する様々な人権課題に対して、正しい知識の習得と理解を深める研修の場が少ない ・コロナ禍により、慣習的に行われてきた啓発活動が制限されている ・全国的にパートナーシップ宣誓制度の導入が広がりつつある中で、性的マイノリティの当事者にとって、住みよいまちになっていない ・ハンセン病療養所が所在する市として、市民がハンセン病問題に触れるきっかけづくりが継続的に行えていない	
	<b>【目指す状態(実現したい状態)】</b> ・人権に関する多様な講座が、様々な方法で身近に受けられる環境がある状態 ・効果的かつ今までとは異なる啓発ツール等を活用し、多種多様な人権課題に対し、幅広い層の市民へ啓発活動が行える状態 ・性的マイノリティに対する理解が深まり、パートナーシップ宣誓制度を導入するとともに、制度が活用される状態 ・様々な切り口で、ハンセン病問題に関して考える機会が継続的にある状態	
6	<b>【テーマ】</b> 自然の中で社会復帰(リワーク)できるまちづくり	<b>【関係課】</b> 福祉課
	<b>【解決したい課題・現状】</b> ・障害者のニーズが多岐にわたるため、公的制度の狭間については対応が困難な部分がある ・行政は制度にそって運用しているため、柔軟な発想がしにくいところがある ・市外では、精神疾患(うつ等)で離職した方の社会復帰(リワーク)を支援する施設が出来ているが、地域にはない ・医療機関未受診者(未診断、手帳未取得者)は福祉サービス対象外となるため、制度の狭間の方がいる ・精神疾患(うつ等)により引きこもりや離職となった方が、社会復帰(リワーク)を支援する社会資源が不足している	
	<b>【目指す状態(実現したい状態)】</b> ・精神疾患(うつ等)により引きこもりや離職となった方が、自然豊かな施設で市民ボランティアと共に農作業を行うことで社会とのつながりを持ち、社会復帰(リワーク)できる状態 ・福祉サービス対象外の方(医療機関未受診者等)が、社会復帰(リワーク)に向けて一歩を踏み出せる環境を作り、モデル的なプログラムと居場所がある状態 ・障害者理解の促進を図り、地域で安心して暮らせる基盤がある状態 ・地域包括ケアシステムの役割の一つを担える社会資源が育成されている状態	

	<p>【テーマ】</p> <p>孤独死・孤立死を防ぐための仕組みづくり</p>	<p>【関係課】</p> <p>いきいき長寿課</p>
7	<p>【解決したい課題・現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単身高齢者が増えたため、近所づきあい等が少ない高齢者は突然死しても、しばらく気づいてもらえない</li> <li>・セーフティネットの構築については、郵便配達員や配食サービス事業者等の見守りに関する協定等で実施をしているが、どうしてもセーフティネットから漏れる人が出ている</li> <li>・一人暮らしや高齢者世帯を地域ぐるみで見守る仕組みがない</li> <li>・コロナ禍で互いの家に集まるなど、高齢者同士の交流の機会が減っている</li> </ul>	
	<p>【目指す状態(実現したい状態)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティネットや地域住民の交流や支え合いから漏れる人がなくなり、孤独死・孤立死が起こらない状態</li> <li>・毎日高齢者が気軽に集い、語らうことができる居場所を作り、相互に確認できる体制を作ることにより、既存のセーフティネットと合わせて、異変の気づきが強化された状態</li> <li>・集会所や公共施設だけでなく、様々な手法・場所で高齢者の交流が行われている状態</li> <li>・コロナ禍でも高齢者が交流することのできるようリモートでの語りあい、外部での作業等、感染症対策に配慮した取組が行われている状態</li> </ul>	
8	<p>【テーマ】</p> <p>子ども、子育て世代が希望する遊び場づくり</p>	<p>【関係課】</p> <p>○こども政策課 子育て支援課 健康づくり推進課</p>
	<p>【解決したい課題・現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「外遊びを楽しむまち。瀬戸内市」の実現を目指し、「こどもひろば」の取組みを行っているが、小学生以上への取組みが十分でなく、また異年齢が一緒に遊べる環境づくりが不十分である(参考:みんなでつくる瀬戸内市のこどもひろば基本計画)</li> <li>・地域で子育てすることの孤立感や負担の軽減につながる、地域の資源や魅力を活かした取組みが不十分である</li> </ul>	
	<p>【目指す状態(実現したい状態)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの遊ぶ声が聞こえる、子どもたちが遊ぶ姿を温かく見守る地域である状態</li> <li>・身近な場所に子どもと一緒に、また子どもたちが行きたくなる遊び場がある状態</li> <li>・地域の使用されていない環境や施設の有効活用により、子どもや子育て世代が希望する遊び場づくりを地域ぐるみで取組む状態</li> <li>・子どもの育ちや子育ての不安、ストレスに寄り添う市民が増える仕組み、つながる仕組み、関わる仕組みがある状態</li> </ul>	
9	<p>【テーマ】</p> <p>歴史文化資源の保存や継承とその活用</p>	<p>【関係課】</p> <p>文化観光課</p>
	<p>【解決したい課題・現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過疎化、少子高齢化の進行により地域の活力が低下しているため、豊かな歴史文化資源の保存・継承や活用が困難となっている</li> <li>・古墳や城跡、社寺などを撮影した写真などを観光や教育用コンテンツとして活用したいが所有しているデータも更新がなく撮影日が古いままのものが多く、現状と異なっている</li> </ul>	
	<p>【目指す状態(実現したい状態)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区(大字)の古墳や城跡・神社仏閣などの文化財マップが定期的に更新される状態</li> <li>・市民が歴史や文化財を誇りに思い、大切に保護・保存・活用することで、地域活性化の一助となる状態</li> </ul>	

10	<p>【テーマ】</p> <p>市民の芸術文化活動の振興と新たな情報発信の構築</p>	<p>【関係課】</p> <p>○中央公民館 文化観光課</p>
	<p>【解決したい課題・現状】</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大のため市民の生涯学習機会が失われている。感染状況の見通し          が見つからない中、公民館登録グループが活動縮小や解散したり、芸術文化団体が下火になったり          するなど、市民の活動の意欲が低下し、公民館を利用する市民が大きく減少している。このため、          これまで公民館で活動を行っていた人たちを呼び戻すだけでなく、新規の参加者が増えるような、          市民ニーズに応じた学習機会を提供する必要がある</p> <p>・多種多様な芸術文化情報があるが、限られた市民にしか届いておらず、より幅広い市民の興味          関心を引くことができるような、これまでにない情報発信の仕組みを構築する必要がある</p>	
	<p>【目指す状態(実現したい状態)】</p> <p>・市民がニーズに応じた芸術文化等の生涯学習情報を取得でき、継続的に新しい層の参加者が          増えるなど、市民による公民館活動の機運が高まっている状態</p> <p>・公民館を中心に市内の芸術文化活動に携わる団体及び個人、他の各種団体、行政、企業等が          相互に交流・協力・連携できている状態</p>	
11	<p>【テーマ】</p> <p>デジタルアーカイブを核とした地域資源の情報発信</p>	<p>【関係課】</p> <p>図書館</p>
	<p>【解決したい課題・現状】</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来館者数や図書館で開催されるイベント数が減          少している</p> <p>・図書館が公開しているデジタルアーカイブの情報量や周知が十分でなく、利用が低調である</p> <p>・文化財等の貴重な地域資源があまり知られていなかったり、記録が継承されず失われていって          いる</p>	
	<p>【目指す状態(実現したい状態)】</p> <p>・図書館が公開しているデジタルアーカイブに十分な情報が蓄積され、コロナ禍でも市民が文化          財等の地域資源を学習・利用できる状態</p> <p>・市民が主体となり、図書館所蔵の資料や地域の記録等をもとに、文化財等の地域資源情報(画          像情報を含む)を収集し、これらがデジタルアーカイブに記録され、多くの市民に活用・共有されて          いる状態</p>	